

宮古市で「企業の森づくり活動」協定締結 — 県の仲介による沿岸地域初の「企業の森づくり活動」 —

去る9月8日水道・水質関連企業の東北公営企業（株）（盛岡市）、宮古市及び県との3者による「企業の森づくり活動」協定締結が宮古市内で行われました。

協定の内容は、同市市街地に近い「黒森宮古市有林」において、東北公営企業（株）の資金提供を受けて宮古市が間伐を行うというもので、協定期間は5年間です。

当日はテレビ局や新聞社など5社が取材に訪れ、9月9日付け岩手日報朝刊などで紹介されました。今後、地元広報誌でも市民に紹介していくこととなっています。



C S R（企業の社会的責任）の一環としての「企業の森づくり活動」は、森林整備全体の中では微々たる取組みですが、マスコミ等を通じて広く紹介されることにより、森林整備に対する社会全体の理解醸成が深まり、森林整備の進展に繋がることを願っています。

2010年（平成22年）9月9日（木曜日） 地 域（14）

温暖化防止へ 育て宮古の緑

盛岡市の東北公営企業（株）と宮古市、岩手県と協定締結し、同社の資金提供を受けて宮古市が間伐を行うというもので、協定期間は5年間です。

市、県と東北公営企業 が協定

宮古市市長の山本正徳市長が、東北公営企業（株）の代表取締役社長の中村一朗社長と、岩手県知事の柏村良一知事と、協定締結式を行いました。

市有林に「企業の森」 無償会社負担で間伐整備

協定により、黒森宮古市有林に「企業の森」を整備することになりました。これは、宮古市の市有林に「企業の森」を整備することになり、黒森宮古市有林に「企業の森」を整備することになります。

